

第3回 久能・大谷地区学校開校準備委員会を開催しました！

令和8年6月18日 午後6時～7時 久能小学校にて

久能・大谷地区では、令和9年度の小学校同士の統合に向けて、「久能・大谷地区学校開校準備委員会」を定期開催しています。自治会やPTAの皆さんなどが委員となり、学校や教育委員会などとともに話し合いを行っています。

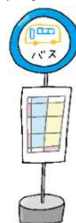


今回の主な内容



【通学支援の方向性について】

- ▶学校統合に伴い、大谷小学校への通学距離が2km以上となる小学生を対象に通学支援を検討しています。
 - ▶具体的な通学支援案として、路線バスでの通学(通学定期券の購入費用の全額補助)を検討しています。
 - ▶東大谷のバス停で必ず乗り換えが必要となり、バス待ちの時間が発生することについて、バスの遅延も考慮しながら、東大谷のバス停での待ち時間を概ね10分程度とする方向で協議を進めていきたいとの考えを、委員の皆さんに説明しました。
- 上記の方向で、引き続き事業者と協議を行っていくことを確認しました。



委員意見 (抜粋)

- ▶通常下校時だけでなく、特別日課の日などについても待ち時間の調整を行ってほしい。
- ▶夏場は非常に暑く、長く屋外で待つことは児童にとって大きな負担となる。できる限り待ち時間を短縮してほしい。

【跡地活用について】

- ▶今年度は、地域の皆さんと意見交換を重ねながら、いただいた意見も踏まえた活用方針を整理した上で、公募により事業者を募集し、候補事業者を選定する予定です。その後、静岡市と事業者が賃貸借契約を締結し、必要な改修等を経て、活用開始となる見込みであり、実際の活用開始時期は、令和10年度以降を想定しています。
- ▶現在、跡地活用に関心を示している事業者から問い合わせを受けており、個別に聞き取りも実施しています。

委員意見 (抜粋)

- ▶地域住民の意見を丁寧に聞いて欲しい。
- ▶地域との意見交換は、事業者決定後ではなく、その前から実施するという理解でよい。(市回答:そのとおり。まず、地域から活用方針に対する意見を伺い、その内容を公募条件へ反映させる。その後、事業者決定後には、具体的な施設利用や地域との連携方法について、改めて地域と協議する機会を設ける予定である。)
- ▶現在、久能小学校は避難所となっているが、跡地活用後も避難所機能は維持されるのか。また、体育館やグラウンドを利用している地域団体は、今後も利用できるのか。(市回答:避難所機能については、市の防災機能を維持することを前提として事業者と協議を進める考えである。また、体育館やグラウンドのスポーツ利用については、活用事業者が決定するまでは現在の利用を継続する予定であるが、事業者決定後は基本的には移動していただくことになる。事業内容によっては引き続きスポーツ利用ができる可能性はあるが、その場合、事業者との協議となる。)
- ▶跡地活用は、久能地区の活性化につながるものであってほしい。例えば宿泊施設や地域産業のPR、農産物販売など、地域の魅力向上や雇用創出につながる事業を期待している。
- ▶地域として「校舎内のこの部屋だけは残してほしい」といった要望を出すことは可能か。(市回答:要望いただくことは可能である。ただし、市としては建物全体を一体的に貸し付けることを基本としているため、一部の部屋だけを貸付の対象から除外すると、鍵の管理など防犯や施設管理の面から課題がある。一方で、事業者が決定した後、地域との協議の中で、地域利用の継続について協議することは可能である。)
- ▶現在は、事業者から問い合わせの段階とのことだが、今後さらに積極的な情報発信を行い、多くの事業者へ周知してほしい。(市回答:現在も市ホームページ等を活用して情報発信を行うとともに、全国で廃校活用に取り組む事業者へ市から直接情報提供を行っている。今後も引き続き情報発信に努めていく。)

◎お問い合わせ先 (開校準備委員会事務局)

久能小学校

☎054-237-4744

静岡市教育委員会 教育総務課

☎054-354-2505



次回の開催
令和8年10月予定